

# 令和4年度 第1回 大分市自転車走行空間ネットワーク整備推進協議会

## 議事録

1. 日 時 令和4年7月27日（水） 午後2時～午後3時
2. 場 所 大分市役所議会棟4階 全員協議会室
3. 出席者 別紙参照
4. 議 事
  - (1) 令和3年度の実績及び令和4年度の計画
  - (2) 自転車誘導サインの施工手法及び寸法の見直しについて

### 議事要旨

- (1) 令和3年度の実績 及び 令和4年度の計画

| 番号 | 発言要旨  | 回答要旨  |
|----|---|---|
| 1  | <p>【伊藤委員】</p> <p>市道都町東春日線の交差点のナビマークを設置した箇所について、自転車が交差点を通行する際、自動車用の信号に従うということが良いか。また、右折する場合、どのように通行すれば良いか。参考までに教えてもらいたい。</p> | <p>【事務局】</p> <p>自転車は基本的に自動車用の信号に従う。ただし、交差点によっては、歩行者用の信号に「自転車歩行者専用」という補助板が付いているものがあり、その場合はそちらに従う。</p> <p>右折の場合、信号に従い直進し、その先で右方向に方向転換して、再び信号に従って直進する。所謂2段階右折の方法をとる。</p> <p>なお、この交差点で信号待ちをする場合は、車道上でも、一旦歩道に上がって待っても良い。</p> |

|          |   |  |
|----------|---|--|
| <p>2</p> | <p><b>【吉村副会長】</b></p> <p>ハード・ソフト両面で非常に進んでいるように感じる。施策を行う各関係機関に感謝する。</p> <p>市道都町東春日線のナビマークについて、東京など他都市ではかなり普及している。大分ではこれが県内初とのことだが、その周知をどのように行っているのか。</p> <p>高校などには周知を行うことはできると思われるが、ドライバー向けの周知はどのように行っているのか。</p>   | <p><b>【事務局】</b></p> <p>本交差点の整備を行なった際、マスコミに取材していただき、ニュースの特集のなかで取り上げていただいた経過がある。</p> <p>ただし、設置しただけでは、その意味合いが伝わるわけではないため、今後、この交差点の交通の状態、通行の仕方等を把握した上で、適宜周知を行っていきたい。</p>   |
| <p>3</p> | <p><b>【吉村副会長】</b></p> <p>国土交通省における別大国道の整備について、調査設計の段階だということだが、どのくらいの期間で整備を行っていくのか。道の駅の整備が2年後になるので、それに合わせられるのか。</p> <p>また、その区間は、「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」（以下、本計画）で想定していない区間だと思われるが、本計画の計画期間である令和7年度までに整備できるとしたときに、本計画の整備目標25kmにどのような影響があるのか。この路線だけでかなりの延長があるので、目標値の上方修正を行うのか。</p> | <p><b>【伊藤委員】</b></p> <p>現在、調査設計の段階であり、かつ予算の状況もあるため、現段階では、期間は未定である。</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>本計画では、「自転車道」「自転車レーン」「自転車誘導サイン」の形式で整備されたものを整備延長の実績に計上することとしていることから、仮に該当する形態で整備された場合は、実績に計上することになるものと考えている。今後協議会の意見を聞いたうえで、検討する。</p> |

|   |  |  |
|---|--|--|
| 4 | <p><b>【吉村副会長】</b></p> <p>各警察署のソフト施策の自転車指導カードについて、東警察署だけ件数が少ないが、管内で自転車の通行量が違うからなのか、マナーが良くてその必要がないのか、運用方法が違うのか、教えてほしい。</p> | <p><b>【藤原代理】</b></p> <p>鶴崎工業高校がパンフレットのモデルとなったこともあり、東警察署管内の各高校の先生が周知・広報等を頑張ってくれた。</p> <p>また、本署にて街頭啓発に力を入れた結果、低い件数になったものと認識している。</p>                   |
| 5 | <p><b>【田中会長】</b></p> <p>ハード・ソフト両面において、関係機関が一生懸命に取り組んだ結果が、目標値の達成状況に結びついていると感じる。</p> <p>今年度も引き続き事故件数が減少することを期待する。</p>      | —  |
| 6 | <p><b>【和間委員】</b></p> <p>高校生の指導カードを持って帰ったあとの取扱いはどのようになるかを教えてほしい。</p> <p>また、指導カードの具体的な数値、特にヘルメットの件数は把握しているのか。</p>          | <p><b>【和田代理】</b></p> <p>指導カードは、指導されたことを確認してもらうために渡しており、持って帰ったあとに何かあるわけではない。</p> <p>個別に把握していないため、ヘルメットの件数は分からない。</p>                                  |
| 7 | <p><b>【廣瀬委員】</b></p> <p>高校生はヘルメット着用の義務化から期間が経ったが、その効果はどうかを教えてほしい。</p>  | <p><b>【衛藤代理】</b></p> <p>ある学校の生徒と自動車の接触事故の現場に行った際、自動車側にヘルメットにより窪んだ跡があったものの、ヘルメットのおかげで生徒は無事だった。</p> <p>こうした事例からすると、本取組により、死亡事故は減少しているのではないかと感じられる。</p> |

|   |  |   |
|---|--|---|
| 8 | <p>【内田委員】 ※委員欠席に伴い、予め意見を事務局が預かり代読</p> <p>植田地区の雄城台高校付近の国道442号に自転車道ができていて、私も走らせてもらった。</p> <p>せっかくあれだけ広い空間があるのだから、それぞれ片側通行で専用道路にしてもらった方が安全だと思うが、対面通行になっているということで残念である。狭い幅員のなかで、対面通行だと特に夜間はかえって危険ではないかと思う。</p> <p>「歩道は両方向に走っても良い。」「自転車は歩道であればどこを走っても良い。」という日本の定着した考えの延長で、あのような道路を作ったような気がしてならない。</p> <p>今後、自転車道を作るのであれば、一方通行にしていかないと結局あのような形で延長していても、考え方が変わらない。せっかく良いものを造ってもらったので、今後は対面ではなく、一方通行の自転車道を造っていただき、併せて一方通行にしなければならぬ意義も発信していただきたい。</p> | <p>【外池委員】</p> <p>国道442号の自転車道については、幅員2mで対面通行となっている。</p> <p>理由・背景として、両側に商店等が張り付き、一般の交通の利用もあるため、なるべく歩行者と自転車を分けようということで整備している。</p> <p>確かに一方通行という方法もあるが、沿道利用、市民の生活を考えた時には、双方向が現実には即しているのではないかと判断で整備している。その点をご理解いただきたい。</p> <p>高校生が利用しているが、できれば高校生だけでもできるだけ左側を走るといいうことを指導していただければ、懸念が払しょくできるのではないかと考える。</p> <p>双方向が良いのか、一方通行が良いのかはそれぞれ一長一短があるので、当面はこの形で運用し、一方通行の方があべきという声が大きくなれば、その後に規制を見直すということもあると思う。現段階ではこうした形で整備していきたい。</p> |
|---|--|---|

(2) 自転車誘導サインの施工手法及び寸法の見直しについて

| 番号 | 発言要旨  | 回答要旨   |
|----|---|--|
| 1  | <p><b>【伊藤委員】</b></p> <p>試験施工を行う場所や施工の手法を教えてほしい。</p> <p>また、試験施工後は耐久性の確認も行うか。</p> | <p><b>【事務局】</b></p> <p>試験施工場所は今後検討を行う。施工の手法は、自転車マークと同様にシート型で行う。</p> <p>また、耐久性も確認を行い、施工に係る時間なども勘案し、総合的に検討を行う。</p> |
| 2  | <p><b>【吉村副会長】</b></p> <p>寸法の見直しはサイズが小さくなるという認識で良いか。</p>                         | <p><b>【事務局】</b></p> <p>現在より設置費用が高くなるようであれば、サイズを小さくする方向で検討する。</p>   |
| 3  | <p><b>【吉村副会長】</b></p> <p>施工方法は地域によって異なると思われるが、他都市の状況を調べたうえで、今回の方向性を考えたのか。</p>   | <p><b>【事務局】</b></p> <p>サイズについては、国のガイドラインに則り、決定している。また、デザインや施工方法は都市ごとに様々であるが、本市では今回の提案の形で行いたい。</p>                |